

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 天野 博司
幹 事 藤井 紀子
会報委員長 橋 英樹

お知らせ

・ 2月のプログラム

6 (No.1)-客話
13 (No.2)-会員卓話
20 (No.3)-客話

・ ニコニコBOX;

83歳になりました
今年もよろしくお願いします
大熊君
卓話を終えて
横田君

<ニコニコ会計累積/ ¥130,000>

・ がんばるBOX;

今日のご協力ありがとうございました
細谷君
夏見ガバナール公式訪問
お疲れさまでした
福田君
姪が短期交換でお世話になりました
陶國君
小豆島タートルマラソン10km
完走しました
丸亀ハーフ応援よろしく
富田君

<がんばる会計累積/ ¥258,500>

例
会
場
・
事
務
局丸
亀
市
塩
飽
町
48
|
1
丸
亀
プ
ラ
ザ
ビ
ル
5F

■挨拶

皆さん、今日は天野会長が所用で欠席されておりますので、私細谷が会の進行を務めさせていただきます。 よろしくお願ひします。

本日の例会事業は横田会員の卓話です。どうぞよろしくお願ひいたします。

今週のニュースとしてはやはりアメリカでトランプ大統領が再登板でしょうか。就任早々バイデン前大統領の政策を大きく転換させています。今後の日本への影響に注目せざるを得ません。

ところで国際的な話題とは別に昨日の新聞で気になった記事がありました。日経の地方版の記事で、岡山駅構内のお土産物ショップなどでよく見かけていた柔らかいお餅にクルミを練り込んで串で刺している「きび田楽」というお菓子を製造販売している金萬堂という会社が今月いっぱい廃業するというものです。理由は後継者不在ということで、従業員の行き先は個人の判断に任せるとのことです。最近、この手の後継者不在による廃業という話をよく耳にします。会社に限らず様々な組織がその継続に困難を感じています。これまで存在して当然と思っていたPTAや自治会にも廃止の動きがあります。そしてロータリーもひょっとしたらその例外ではないのかもしれない。急激に変わっていく環境に対応するため、クラブとしてこれからどのように対応していくべきか、そんなことも考えながら次年度の事業計画も検討していかなければならないと感じた次第です。

そのあたりも踏まえ、皆様のご理解とご協力を心よりお願ひいたします

■幹事報告

①丸亀少女の家からアイスクリームのお礼のお手紙

②丸亀市国際交流協会・丸亀ユネスコ協会共同開催事業の国際交流キング(2月16日)の参加者募集の案内

■お弁当の残数

1月23日例会時:5食

欠席のご連絡をお願いします

■例会事業:会員卓話 横田龍男会員

『私のロータリー』

私が考えているロータリーについてお話をします。私が入会したのは丸亀RC29年度で今から33年前のこと、当時最年少会員での入会でした。今まで先輩諸氏にロータリーについて教えていただいたこととお話します。注意されたこと叱られたことで今の私があります。丸亀クラブに入会できたことに感謝します。

ロータリーについて書かれたもので、「ロータリー章典」「手続要覧」があり、この中に「社会奉仕に関する1923年の声明」があります。これは社会奉仕にとどまらずロータリー全般について書かれた歴史的な文書です。これを読まずしてクラブの運営はできません。

ロータリーとは何か それは「ロータリーは一つの人生の哲学である」。人生の哲学は奉仕の哲学「超我の奉仕」であり、実践的な「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」の倫理原則に基づくものです。(「社会奉仕に関する1923年の声明」、一般には「決議23-34」とも呼ばれています)

ロータリークラブとは何か それは「ロータリー＝「人生の哲学」を学ぶところで、学んだことをクラブ、個人で実践します」



2025.1.23
Vol.62
№21
(2964)

RIとは何か それは「クラブへの奉仕理論の育成と普及、クラブの設立、援助などをするのが主な役割。そしてRIはクラブに対して指導はしても強制することはできません」

「ロータリーの目的」には奉仕の理念を育むことと書かれています。
では「奉仕の理念」とは何か。

奉仕の理念は(The Ideal of Service)で、直訳することで、「奉仕の理想」とも呼ばれています。それは以下の四つの言葉を抱合したものです。

- ①超我の奉仕（第一標語）
- ②最もよく奉仕する者、最も多く報いられる（第二標語）
- ③他者への思いやり
- ④他人にしてもらいたいと思うことは、あなたたちも他人にしない
つまり、「奉仕の理念」とは他人のことを思いやり、他人のために尽くすことです。

ロータリークラブとは「人生の哲学」を学ぶための学校です。

奉仕の理論が職業、人生における成功と幸福の基礎であることを団体(クラブ)で学びます。クラブの活動は会員に奉仕の実践を教える、いわば実験室です。つまり、会員へのお手本としてクラブの活動があります。

そして、団体(クラブで行う)奉仕よりも個々の活動(奉仕)の方がロータリーの精神になっています。

クラブには自主権があり、クラブでどのような活動をするかを決めることができます。

そして、国際ロータリー(RI)はクラブの活動に対して、命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないと書いてあります。

以上を、まとめると

「ロータリーは人生の哲学」である。

「ロータリーの目的」は奉仕の理念を奨励し、育むこと

「奉仕の理念」は他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと

では「奉仕の理念」をどこで育むのか、それは例会において学びます。だからロータリーは例会に休まず出席せよと言います、出席すればロータリーは分かってきます。執行部の例会運営には責任があります。

気付いたことなど

叱られたことですが、副会長をしているとき、総会で次年度役員理事の発表の時に一緒にSAAの名前を発表してしまいました。SAAは総会後の次年度の理事会で承認され次週の例会で発表します。次年度役員理事と一緒に発表してはいけません。SAAは会長に物申すことができ会長もSAAの言葉には従わなければなりません。SAAは会長の権限に匹敵します。

国際ロータリークラブはありません、正しくは国際ロータリーです。

会長代行はPETS(会長エレクト研修セミナー-presidents-elect training seminar)を受けていないと代行はできません。会長欠席時は直前会長や直前前会長など代行を務めます。出席免除会員の100%出席表彰はありません。

第一例会の例会場所の変更は原則しない。(理事会の開催ができないので)